おおぶ社協だより 249号/令和5年3月1日

# おおぶの福祉

みんなでつくる ふだんの くらしの しあわせ
ふくしステーション おおぶ社協

## おおぶの福祉の未来について語り合いました！

大府市社会福祉協議会法人設立45周年記念式典での座談会の様子

### おおぶの福祉 249号［紙面紹介］

おおぶ福祉特集 認知症サポーター養成
2万人チャレンジ！を達成しました！

〈ごあんない〉
- 認知症サポーター講座
- ボランティア活動保険
- 災害ボランティアセンター紹介
- 大府市社会福祉協議会
  マスコットキャラクター紹介　他

編集発行
社会福祉法人 大府市社会福祉協議会

@obu_shakyo
#おおぶ社協
フォローしてね！
インスタグラム

おおぶ社協

ウェブサイト

大府市東新町一丁目219番地
☎ 0562−48−1805
0562−46−9560
obu-fuku@ma.medias.ne.jp

この広報紙は、市民の皆様にご協力をいただいた赤い羽根共同募金を財源として発行しています。

# 2万人チャレンジ!を達成しました!!

大府市では、「大府市認知症に対する不安のないまちづくり推進条例」(平成29年度)の制定を機に、市民の認知症の理解をさらに推進することを目的として、当時の認知症サポーター1万人の倍増を目指す「認知症サポーター養成2万人チャレンジ!」に取り組んできました。コロナ禍の影響はありましたが、感染対策を丁寧に行い、地道に認知症サポーター講座を実施してまいりました。そして、今年度に2万人を達成しました。今回の特集では、認知症サポーターや大府市の取り組む「おおぶオレンジサポーター」、「チームオレンジおおぶ」について紹介します。

## 大府中学校で達成

大府市では、市民活動団体、自治区、老人クラブ、サロン、企業、金融機関など、さまざまな団体にご協力いただきながら、認知症サポーターを養成してきました。また、将来のまちづくりを担う子どもたちに、認知症の正しい知識と理解を深め、福祉の心を育てる機会として、小中学校、高校、大学でも認知症サポーターの養成に取り組んできました。中学校では、毎年全ての1年生の生徒が受講しています。そして、令和4年7月15日に、大府中学校で認知症サポーター2万人を達成しました。

「認知症サポーター養成2万人チャレンジ!」は、小学校から民間企業まで巻き込み、コロナ禍でも柔軟な開催方法により養成を続けてきた点などが評価され、厚生労働省主催の「第11回健康寿命をのばそう!アワード(介護予防・高齢者生活支援分野)」で厚生労働大臣 優秀賞を受賞しました!

大府中学校での記念式典の様子

## 認知症サポーターとは

認知症サポーターとは、認知症について正しく理解し、地域で認知症の人やその家族を温かく見守ったり、自分のできることで支援する「応援者」です。

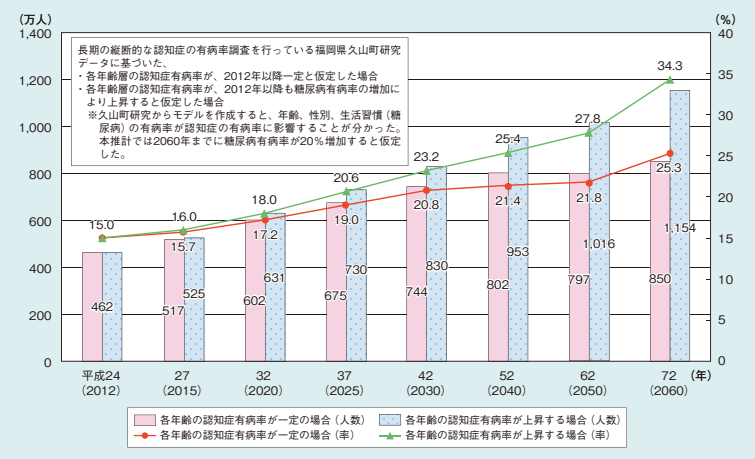
高齢化の進展に伴い、令和7年(2025年)には、65歳以上の5人に1人が認知症になると想定されています。

認知症になっても、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるため、自分たちにできることで、取り組みを進めていくことが大切です。

講座の様子

受講料無料

図1－2－12　65歳以上の認知症患者数と有病率の将来推計



資料:「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(平成26年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学二宮教授)より内閣府作成

出展:平成28年版高齢社会白書(内閣府)

### 認知症サポーター講座申し込みについて

**対象**　市内に在住・通勤・通学している人を中心とした集まり(5人以上)

**内容**　認知症の理解(認知症の症状・予防・認知症の人との接し方など)

**時間**　60～90分　**会場**　主催者で準備

認知症サポーターの証であるオレンジリングがもらえます♪

おおぶ福祉特集

# 認知症サポーター養成

## おおぶオレンジサポーターに登録しよう！

認知症になると、もの忘れや判断力などの低下により、それまでできていたことが少しずつできなくなり、自信を失い、失敗をおそれ、閉じこもりがちになる人がいます。誰かの「ちょっとした」支援があれば、認知症になる前と同じように、地域で安心していきいきとした生活を送ることができます。

「おおぶオレンジサポーター」は、自分ができる範囲で認知症の人を支援したいという人が、個人でボランティアとして登録する制度です。あなたのできることで、認知症になっても安心して暮らすことのできるまちづくりに参加しましょう！

**おおぶオレンジサポーターの役割**

★認知症カフェ　★本人交流会「コスモスクラブ」　★就労的活動支援
★話し相手　★ゴミ出し　★見守り　★買い物代行
★外出の付き添い（買い物など）　★行方不明発生時の捜索活動への参加 など

## 大府市は、チームオレンジおおぶの活動を推進しています

「チームオレンジおおぶ」とは、認知症の方や、家族、地域住民などがチームを組んで、認知症の人を支援する活動です。認知症になってもなじみの生活や社会参加が継続できるように、チームのメンバーが役割を担いながら支援します。認知症になっても、その人らしい生活を続けるために、チームオレンジへの登録をお願いします。

### チームなごみ

「チームなごみ」は、平成21年度の認知症サポーターフォローアップ講座の受講生を中心に、有志によって結成された認知症支援ボランティアグループです。

**活動紹介**

- 認知症啓発人形劇『ザ・なごみ』
  手作りの人形劇をイベントやサロンなどで公演、人形の修繕や衣替え、シナリオの作成
- 認知症カフェ
  毎月第3水曜日 午前10時～正午　社協会館
  100円でお茶・お菓子付き、手作りパネルアートの展示
- 研修への参加
  認知症フォーラムやセミナー、研究・報告会などへの参加
- 福祉・健康フェアなどのイベント参加・協力

### オレンジcom

「オレンジcom」は、若年性認知症を発症した母親の介護をきっかけに、母親と一緒にできる活動はないかと模索していたところ、新潟県長岡市から広まったオレンジガーデニングプロジェクト※の取組を知り、活動を開始したグループです。家族や地域住民の皆さんとともに活動しています。

※認知症のシンボルカラーであるオレンジ色の花を植え、認知症になっても暮らしやすいまちづくりへの思いを共有する活動です。

**活動紹介**

大府コミュニティ連絡協議会などと連携し、オレンジ色の花を公共施設や花壇に植えたり、オレンジ色の花の苗を配布して、自宅の庭などに植えてもらうことで、認知症の啓発活動を行っています。

**お問い合わせ先**

大府市役所高齢障がい支援課　住所 大府市中央町五丁目70番地　電話 45-6289
大府市高齢者相談支援センター　住所 大府市江端町六丁目13番地の1　電話 45-5455

# PHOTO NEWS

大府市内のさまざまな活動やイベントの様子
地域・福祉・笑顔をお届けします

## 1/9（月） 社協法人設立 45周年記念式典

大府市の福祉の推進に寄与された皆さまの顕彰と記念講演・座談会を行いました。誰もが安心して暮らすことができる大府市を目指し、今後も地域福祉の推進に取り組みます！

## 1/18（水） サロンきょうわが再開!

共和西児童老人福祉センターのふれあいサロン「サロンきょうわ」。コロナ禍で活動休止していましたが、内容を変えて再開することができました！

## 1/21（土） eスポーツルーム誕生

石ヶ瀬児童老人福祉センターに「eスポーツルーム」が誕生！オープニングイベントには地域の老人クラブの皆さんも参加し、eスポーツを楽しみました。

## 1/25（水） みんなの成年後見教室

成年後見制度についての理解を深め、市成年後見センターの活動や被後見人のサポートをしていただく方を養成する講座を開催しています。

## 1/28（土） 子ども会大会

子ども会会員を対象としたパフォーマンスショーを開催！子どもたちが元気で笑顔になれる楽しいショーでした♪

## 1/29（日） パソコン要約筆記勉強会

病気や加齢により、耳が聞こえない方や聞こえづらい方に、パソコンを使って情報を伝える「パソコン要約筆記」の勉強会を行っています。

## 2/3（金） 生きがいづくり応援講座

元気な高齢者の皆さんが就労や地域活動、ボランティア活動などにつながることを目的とした講座です。皆さん楽しみながら講座に参加しています！

## 2/4（土） 【北崎地区】認知症などの行方不明者の捜索訓練

行方不明の認知症の方を捜索する訓練を行いました。認知症の方が安心できる声のかけ方や地域の捜索体制について、みんなで考えました。

## 2/4（土） 【吉田地区】避難所運営ゲーム（HUG）

災害時に、子ども、高齢者、障がい者、病気の方などが、少しでも安心して避難所生活を送れるよう、ゲームを通じて避難所運営を体験しました。

インスタグラムでもご覧になれます。

# 情報案内板

## 一緒に学びませんか!認知症サポーター講座

認知症について理解を深める『認知症サポーター講座』を開催します。認知症の方やその家族を支援するために必要な知識や接し方、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりについて、一緒に学びませんか？ぜひ、ご参加ください！

講座の様子

| | |
|---|---|
| 日　時 | 3月22日(水) 10時～ |
| 会　場 | 石ヶ瀬会館 |
| 講　師 | 大府市高齢者相談支援センター職員 |
| 協　力 | 認知症支援ボランティアグループなごみ |
| 対象・定員 | どなたでも　20名(先着順) |
| 内　容 | ●おはなし「認知症の基本的な理解や接し方」<br>●人 形 劇「おばあちゃん、どうしちゃったの？」 |
| 申し込み | 3月17日(金)までに大府市高齢者相談支援センター　電話 45−5455まで |

参加費無料

受講した皆さまには
認知症サポーターの証である
オレンジリングをお渡しします！

## 『ボランティア活動保険』のご案内

**ボランティア活動中**の事故やケガを補償する『ボランティア活動保険』についてご紹介します。現在、ボランティア活動を行なっている方も、これからボランティア活動をはじめようという方も、安心して活動するために、ぜひご加入ください！

**補償内容【傷害補償・賠償責任補償】プランには、基本プランと天災プランの2種類があります。**

※災害ボランティア活動に参加される場合は、事前に天災プランの加入をお願いします。

**【傷害補償】**

ボランティア活動中の偶発的な事故により身体にケガを被った場合、補償されます。

(事故例)

●蜂に刺された。●階段で足を踏み外し転倒した。
●新型コロナウイルスに罹患した。　など

**【賠償責任補償】**

他人の物を壊したり、ケガをさせたりした場合等、第三者に対して法律上の損害賠償責任を負った場合、その負担すべき損害賠償金等が補償されます。

(事故例)

●提供したお弁当が原因で食中毒を発生させてしまった。
●誤って高価なカメラを壊してしまった。

**◎傷害事故**　※基本プランの場合

| 基本プラン | 掛け金 | 入院日額 | 通院日額 |
|---|---|---|---|
| Aプラン | 250円 | 4,400円 | 2,800円 |
| Bプラン | 300円 | 5,400円 | 3,200円 |
| Cプラン | 500円 | 8,400円 | 5,800円 |

**◎賠償事故　5億円(限度額)**
**◎加入申込者は個人単位**
**◎補償期間は年度単位**
**◎加入手続きについて**

| | |
|---|---|
| 受　付 | 4月1日以降の加入は、3月1日より受付開始 |
| 申込先 | 社会福祉協議会窓口(平日8:30～17:15) |
| 持ち物 | 印鑑、掛け金 |

※詳しい保険の内容は愛知県社会福祉協議会のホームページまで
http://www.aichi-fukushi.or.jp/vol/

愛知県社会福祉協議会　検索

# ボランティアだより

## 被災者とボランティアの心をつなぐ

### ～ 災害ボランティアセンター ～

毎年、各地で風水害、地震などの大規模災害が起きています。被災地では災害直後に災害ボランティアセンターが設置され、ボランティアと協力して被災者支援や復興支援に取り組みます。本市でも、平成12年の東海豪雨において「大府市水害ボランティアセンター」を設置し、支援活動を行いました。

災害ボランティアセンターは、市内に甚大な被害が起きた場合に大府市災害対策本部が設置します。センターの管理・運営は、「大府市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル（令和3年度改定）」基づき、社会福祉協議会及びおおぶ防災ボランティア、災害ボランティアコーディネーター、関係機関・団体などが連携して行います。設置場所は「ふれ愛サポートセンタースピカ」「藤池公園」を候補地としています。

## 災害ボランティア活動の紹介

災害ボランティアの活動は、家財道具の搬出・泥かき・瓦礫の撤去にとどまらず、救援物資の仕分け、汚れた写真の洗浄、被災した子どもとの関わり、仮設住宅入居者の訪問など多岐に渡ります。また、時間の経過とともに、被災者が求める支援ニーズは変化していきます。

泥かき

瓦礫の撤去

仮設住宅の訪問・交流

炊き出し

## 災害時の助けあいに、あなたの力が必要です

災害時には、被災者の支援ニーズに対応し、被災者の気持ちに寄り添うボランティアが必要です。東日本大震災の時には、社会福祉協議会が主体となり、災害ボランティアの派遣を行い、延べ175名の市民が被災者支援、復興支援活動に参加しました。ボランティアの力は、被災者の生活の再建の後押しや生きる力につながります。皆さまのご協力をお願いします。

## おおぶ防災ボランティアの紹介

平成13年度に社会福祉協議会が実施した災害ボランティア講座を受講した有志により「おおぶ防災ボランティア」が立ち上がりました。市や社協と連携して防災・減災の活動や啓発を推進しており、防災ボランティアや災害ボランティアコーディネーターの養成にも協力しています。今年度には、ボランティア活動功労者表彰（県知事表彰）を受賞されました。活動に関心がある方は、総合ボランティアセンターまでお問い合わせください。

私たちと一緒に地域の防災力を高めていきませんか。皆さんの参加をお待ちしています。

災害ボランティアセンターについてのお問い合わせは、総合ボランティアセンター（TEL 48-1805）まで

# トピックス

## たくさんのご寄付ありがとうございました！

令和4年12月1日～令和5年1月31日

これらの善意は、社会福祉協議会を通じて、施設にお届けしたり、社会福祉基金に積み立てさせていただきます。(敬称略・順不同)

**■現金**

大府市共和商業協同組合…7,910円
日本ベンダー整備㈱‥40,000円
飯田 節子……10,000円
りべるて……400円
匿名……100,000円
匿名……100,000円
匿名……60円

**■物品**

㈱イマデン……古切手
㈱鷹羽商店……〃
日本高圧電気㈱……〃
村瀬医院……〃
あつまり処 わのや……〃
ふじや酒店となかまたち‥古切手
トルクシステム㈱……〃
匿名……〃
コメダ珈琲 大府名高山店…ベルマーク
柴田 愛子……〃
りべるて……〃
ネットワーク大府……古切手、ベルマーク
貴坊の爺……〃
かほママ……〃
庭jun㈱……〃
匿名……〃
㈱豊田自動織機班長会…足踏み消毒スタンド

### ご寄付をありがとうございました！

日本ベンダー株式会社様より、福祉活動への寄付を目的として実施した「ガレージセール」の売上4万円をご寄付いただきました。市内の福祉活動に活用させていただきます。

株式会社豊田自動織機班長会様より、社会貢献活動として足踏み消毒スタンド26台のご寄付をいただきました。市内の福祉施設などで活用させていただきます。

---

特集

高齢者相談支援センターだより Vol.31

## 終活を考えよう！

終活とは、これまでのご自分の人生を振り返るとともに、長きにわたって積み重ねてきたかけがえのない人生や、郷土への想いを絶やすことなく伝えていくことです。ご自身が、今後「的確に判断をすること」や「考えていること・思っていることが難しくなる」など、もしもの場合に備えて、大府市ではこれらをあらかじめ書き残しておけるように「さくらノート(市独自のエンディングノート)」をご希望の方にお渡ししています。自分らしく暮らしてきた軌跡を、毎年咲き誇るさくらの様に思い出として残していくためにご活用ください。

◆ノートには法的な効力はありません
◆さくらノートについての問い合わせは、福祉総合相談室(電話45-6219)へご連絡ください。

連絡先 大府市高齢者相談支援センター ●JR西側(ふれ愛サポートセンター内) TEL 45-5455 ●JR東側(社会福祉協議会内) TEL 48-1051

---

## 令和4年度 赤い羽根共同募金 実績報告

皆さまからご協力いただいた募金は、地域に暮らす誰もがいつまでも安心して暮らせるよう、明るい「ふくし」のまちづくりのために役立てます。

| 令和4年度赤い羽根共同募金実績額 | |
|---|---|
| 戸別(世帯)募金 | 11,539,200円 |
| 法人(事業所)募金 | 1,218,100円 |
| 学校募金 | 170,309円 |
| 職域募金 | 492,582円 |
| その他募金 | 203,018円 |
| 合　計 | 13,623,209円 |

| 歳末たすけあい募金寄附者一覧 (敬称略) | |
|---|---|
| 匿名 | 6,519円 |
| 匿名 | 2,502円 |
| オオブユニティ㈱社員一同 | 30,405円 |
| 合　計 | 39,426円 |

(令和5年1月31日現在)

大府市社会福祉協議会 法人設立45周年記念

# マスコットキャラクター決定！

大府市社会福祉協議会法人設立45周年を記念して、新たにマスコットキャラクターを募集しました。テーマは「笑顔」「やさしさ」「つながり」。市内外問わず、幅広い年齢の方から総数129通のご応募をいただきました。たくさんの素敵な作品をご応募いただき、本当にありがとうございました！審査の結果、応募作品の中から最優秀賞1点、優秀賞2点を選出し、1月9日に開催した記念式典にて発表させていただきました。

最優秀賞

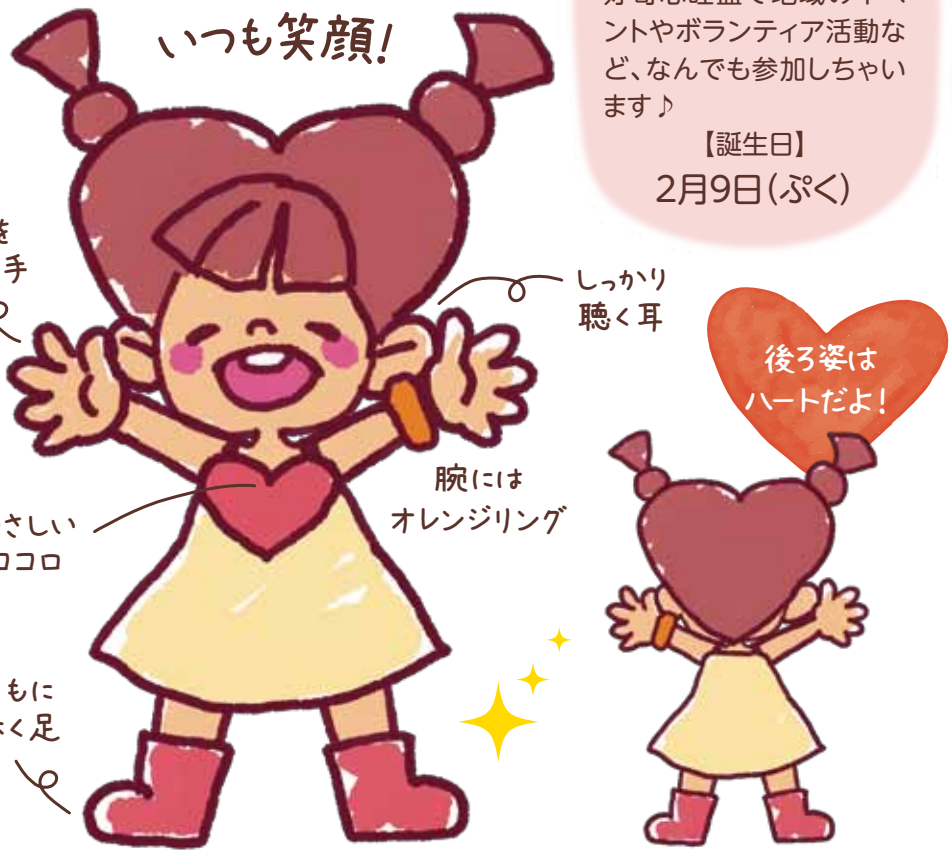
## ぷくちゃん

応募者

励 姍姍さん
（名古屋市在住）

【性　格】
困っている人がいるとほっておけないやさしい性格。好奇心旺盛で地域のイベントやボランティア活動など、なんでも参加しちゃいます♪

【誕生日】
2月9日（ぷく）




☆受賞コメント★
このたびは、最優秀賞に選出していただきありがとうございます。想いを込めて生まれた「ぷくちゃん」が、これから大府市で活躍していく姿を想像すると、とても嬉しいです。「ぷくちゃん」が多くの人に愛され、すくすく成長しながら、いろんな方を笑顔にできますように！

大府市のことが大好きなやさしい女の子。いつも笑顔で、みんなと元気にあいさつします！

優秀賞

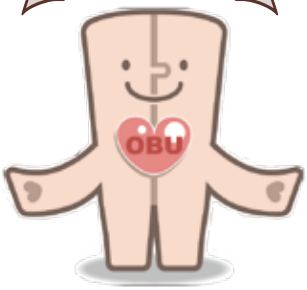
## さくらちゃん

さくらちゃんは、大府市の木である桜をモチーフに、市民の方々から愛されるよう、笑顔と明るいイメージを大切にしてデザインしました。桜の花言葉は「精神の美」「私を忘れないで」という意味があり、福祉の心を表す言葉としてふさわしいと考えました。

応募者 加藤 友香里さん（市内在住）

優秀賞

## ピトンちゃん




ピトンちゃんは［つながり］［ともに支え合うまち］からの発想で「人」という漢字を支えあうように繋げ、キャラクターの姿にしました。自然な笑顔で、胸にはやさしさを象徴する大きなOBUハートを付けています。キャラクター名は「人（ヒト）」やくっつきの擬音「ピト」から連想し、ピトンちゃんと名付けました。

応募者 島野 康宏さん（大阪府豊中市在住）

たくさんのご応募ありがとうございました！